

# シュタイコの即納体制を確立

## 常時在庫で翌日配送に対応

クボデラ

クボデラ（東京都、窪寺伸浩社長）は、ドイツの木繊維断熱材「STEICO FL EX（シュタイコフレックス）038」の



物流機能を含め商品を訴求し、採用先の差別化につなげる考えだ

即納体制を整えた。同社は今夏、イケタコーポレーション（大阪市、池田佐知社長）が輸入総代理店であるシュタイコの首都圏第1号の販売店に名乗りを上げ、在庫販売を決定。クボデラ相模原販売所の在庫を拡充し、

棟分を在庫すること  
で、即納ニーズに応えていく。  
シュタイコフレックスは、FSC、PEFC認証を取得したトウヒを原料とする木質繊維断熱材。断熱性はもとより、熱容量の高さが特徴で、夏場の住

翌日を基本とする配送体制を整えた。  
シュタイコフレックスの壁、天井での採用を想定し、常時10

宅天井の暑さ対策に効果を発揮する。  
シュタイコフレックス038は、1200mm厚、1200mm長、390mm幅の防腐処理仕様のノンホル断熱材の裸品で、熱伝導率0.038W/m・K、熱容量2100J/kg・K。  
窪寺社長は「シュタイコフレックスは熱容量が高く、ほかの断熱材と十分に差別化できる。即納体制を整えたことで、今後は物販だけでなく、流通機能を生かして訴求していく」と話した。